

会議録 (1)

会議の名称	令和5年度第3回飯能市図書館協議会
開催日時	令和6年2月27日(火) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時50分
開催場所	飯能市立図書館 多目的ホールA
議長氏名	頓所 裕子
出席委員	湯川 康宏 松下 晃 中村 公一 杉木 しのぶ 町田 光子 山下 直子 頓所 裕子 野崎 道子 石川 賀一
欠席委員	小林 真由美
説明者の職氏名	図書館長 紫藤 悦子 図書館一般サービス担当主査 引間 隆文 図書館児童サービス担当主査 竹井 順子 名栗分室長 佐野 誠治
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	同上

会議録（2）

議事録の概要（経過）・決定事項
令和5年度第3回飯能市図書館協議会を開催し、協議事項（1）令和5年度図書館利用状況等（4月～1月）について、（2）令和5年度図書館評価指標について、（3）令和6年度図書館運営方針（案）について、（4）令和6年度図書館事業計画（案）についてを協議し、いずれも了承された。
その他として、図書館システムの更新について並びに図書館停電及び高圧ケーブル修繕について報告した。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
	午前10時00分開会
一般サービス担当主査	定刻となりましたので始めさせていただきます。 本日、欠席の委員は、小林委員です。 条例第12条第2項により出席委員が過半数に達しておりますので、 ただいまから飯能市図書館協議会を開会いたします。 はじめに、図書館長よりごあいさつ申し上げます。
図書館長	(図書館長あいさつ)
一般サービス担当主査	続きまして委員長にごあいさつをお願いします。
委員長	(委員長あいさつ)
一般サービス担当主査	それでは協議事項に入ります。条例第12条の規定により、委員長に議長をお願いいたします。なお、議事に入る前に、当会議は公開を原則としております。傍聴の申し出があった場合は許可することにご異議ありませんか。
	(異議なしの声あり)
一般サービス担当主査	それでは傍聴希望者の確認を行います。
	(傍聴希望者の確認)
一般サービス担当主査	傍聴希望者はおりませんでした。 それでは、委員長に議事の進行をお願いします。
委員長	それでは、協議事項(1)「令和5年度図書館利用状況等(4月～1月)について」事務局の説明を求めます。
事務局	(図書館長から資料1-1を基に、一般サービス担当主査から資料1-2を基に、児童サービス担当主査から資料1-3を基に、名栗分室長からは資料1-4を基に説明)

委員長	説明は以上です。質疑はございますか。
委員	市立図書館友の会のおはなし会について、10月4日と21日で参加人数に大きな差があるのはなぜですか。
児童サービス担当主査	4日は平日ですが、21日は土曜日のため人数が増えています。また、開館10周年記念事業として、普段よりも多い出し物を演じました。
委員長	他に質疑はございますか。
委員	(質疑なしの声あり)
委員長	ないようですので次の議事に移ります。 協議事項(2)「令和5年度図書館評価指標について」を議題といたします。 事務局の説明を求めます。
事務局	(図書館長から資料2に基づき説明)
委員長	説明は以上です。質疑はございますか。
委員	開架新鮮度について、停電の修理費用を図書費から支出したとの説明がありましたが、資料の購入費用は図書館にとって必要なものであり、そこから支出したのはあり得ないと思います。
図書館長	図書館としても苦渋の決断でしたが、ご不便をおかけする状況を長引かせることはできず、一日も早い開館のためにやむを得ないことと考えました。このような状況になり申し訳なく思います。
委員	開館を優先したのは分かりますが、後で補てんしてもらえないのですか。
図書館長	補てんの話はありません。
委員	選択は理解できますが、今回のことを他の施設とも共有し、不備があるのであれば修正し、不測の事態に備えることが必要と思います。ただ、図書費の流用は前例となることが心配です。今後、協議会でも議論し、対応について継続して検討しても良いと思います。
図書館長	おっしゃる通りで、非常事態が生じた際の対応については課題と考

	<p>えています。限られた財源の中で、どのように対応していくべきか、委員の皆様のご意見をいただきながら考えていきたいと思っています。</p>
委 員	<p>図書館職員だけではなく、図書館や教育について目的をもってどこまで投資するのか市民が考えていくべきですし、その始めとして協議会で考えていくのが良いと思います。これを機に、図書館に注目が集まる機会になればとも思います。</p>
委員長	<p>施設を維持するための予算は確保しているのですか。</p>
図書館長	<p>計画的な修繕は施設管理事業で確保しています。予測できないものは緊急修繕費で対応していますが、予算を超えるほど高額な場合は、施設管理事業以外から賄うこともあります。</p>
委員長	<p>高圧ケーブルが見つからないとの説明がありましたが、不思議な思いです。</p>
図書館長	<p>全国的に不足な状況となっています。市立図書館のケーブルは長さが必要ですので、入手がより困難でした。</p>
委 員	<p>レファレンス掲載件数の実績が上がらないとのことでしたが、今の職員体制では難しいと感じていますので、無理に件数を上げずに質を優先すれば良いと思います。例えば、飯能に関するものは全て記録するなど、飯能の図書館ならではの内容を掲載すれば良いと思います。</p>
図書館長	<p>現時点でも軽易な内容は掲載していないため数値が下がっています。引き続きご意見の視点で対応していきたいと思っています。</p>
委員長	<p>結局、質問が無ければ件数が増えないのですね。</p>
館 長	<p>そのとおりです。</p>
委 員	<p>学校で使い方を学ばないと、図書館で調べるという選択肢は浮かびません。子どもはスマホで何でも知っている気になっていますが、実は分かっていません。図書館員がほぐすことで、漠然とした目的から気づきを得ることが大切です。オンラインでは得にくいものです。図書館で気づきのきっかけを作っていないと利用者は増えていき</p>

	<p>ません。例えば、地元の新聞をデジタルアーカイブ化しているのですから活用してはいかがでしょうか。図書館が地域を支えることにもなります。協議会にも投げかけて意見を聞いてもらえればと思います。</p>
委員長	<p>レファレンスを知っている人が少ないのではないですか。</p>
委員	<p>図書館で調べることとグーグルなどで調べることの違いを授業でやっていますが、レファレンスを文化として定着させる意味を感じています。</p>
委員長	<p>図書館からもレファレンスについて発信してほしいと思います。</p>
委員	<p>地域新聞のデジタルアーカイブの活用などは、まさにその例となります。スマホや映像では得られない体験が得られますので、飯能の図書館の財産として活用してほしいと思います。また、図書館に丸投げではなく市民が図書館を作っていくということも必要だと思います。</p>
委員長	<p>他に質疑はございますか。</p>
委員	<p>(質疑なしの声あり)</p>
委員長	<p>ないようですので次の議事に移ります。 協議事項(3)「令和6年度図書館運営方針(案)について」を議題といたします。 事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>(図書館長から資料3に基づき説明)</p>
委員長	<p>説明は以上です。質疑はございますか。</p>
委員	<p>(質疑なしの声あり)</p>
委員長	<p>ないようですので運営方針をこのとおり承認してよろしいですか。 (異議なしの声あり)</p>
委員長	<p>ご異議が無いようですので、原案のとおり承認いたします。</p>

事務局	続きますして、協議事項(4)「令和6年度図書館事業計画(案)について」を議題といたします。
	事務局の説明を求めます。
	(図書館長から資料4-1を基に、一般サービス担当主査から資料4-2を基に、児童サービス担当主査から資料4-3を基に、名栗分室長からは資料4-4を基に説明)
委員長	説明は以上です。質疑はございますか。
委員	展示が充実しており感心しています。庁内との連携も素晴らしいと思います。ただ、庶務担当と一般サービス担当のリーダー兼務は困難と思います。一般サービス担当リーダーには、司書で広い視野と経験がある人がなるべきと考えています。庶務担当と一般サービス担当で意見が相反する場合がありますが、意見を戦わせてこそ図書館は伸びると思いますので、職員配置を考慮してください。
図書館長	人事については職員課に申し入れをしています。
委員	展示ならば、興味を持った人をレファレンスに呼ぶ工夫が必要です。図書館員よりも展示のコラボ先の方が状況を良く知っていると思いますので、課題について尋ねてみてほしいと思います。図書館から課題解決のための提案ができるかもしれません。また、関係性の構築により、困った時に図書館に行くように関連団体が言ってくれるかもしれません。地域の人々などと連携していくことで、日常生活と図書館がつながり、レファレンスへとつながっていきます。展示は情報発信として大切にしてほしいと思います。また、こども図書館の読書支援講座ですが、なぜ子どもの読書は「物語」ばかりなのかと思います。日常生活の調べものを支える方向にならないでしょうか。課題解決や研究の基礎となる科学的な読書、世の中を生きていくための読書を想定してはいかがでしょうか。児童館や学校とも連携し、飯能を支える未来の人材を育てる読書という視点で考えてほしいです。図書館の中だけでなく、図書館は外に出ていくことも考えなければなりません。外に出て、地域の人々とワクワクを共有してほしいと思います。
委員長	ぜひレファレンスとつながる展示を開催してほしいと思います。また、レファレンスとは何かをホームページなどで、一般の人に分かる

	ように発信してほしいと思います。
委 員	レファレンスの意味の発信とともに、レファレンスや図書館の使い方を発信することも必要です。地域で盛んなことをテーマとして、レファレンスのきっかけづくりをしてはどうでしょうか。
委員長	他に質疑はございますか。
	(質疑なしの声あり)
委員長	ないようですので事業計画をこのとおり承認してよろしいですか。
	(異議なしの声あり)
委 員	ご異議がないようですので、原案のとおり承認いたします。 続きまして、協議事項(5)「その他」について何かございますか。
委 員	お願いですが、今後、修繕に費用がかかることで、その分、何かを我慢することもあると思いますが、資料費は確保してください。また、読書以外の魅力を発信していく必要があると思います。図書館に縁が無かった人に来てもらう仕掛けづくりに取り組んでください。そのためには職員以外、例えば図書館友の会と連携して仕掛けを見つけていった方が良くと思います。
委員長	協議会委員もいろいろなアイデアを持っているのでぜひ活用してください。
委 員	図書館は、館の外の人を使うものなので、内と外をどのようにつなげていくか考えることが必要だと思います。図書館からのアウトプットにより市民生活が向上することが必要で、マニアを育てるのは公共図書館ではないのです。本やお話が好きな人だけでつながるのではなく、普遍的な日常生活の中でつながる必要があります。プロの図書館員とは、地域生活に還元するためのコーディネーターができる職員だと思います。司書資格だけでは無理であり、幅広く考えられる人でなければなりません。図書館の機能とは、組織化・つなげることだと思います。図書館の中だけでつながらないで、図書館の外の人をつなげていくことが大切です。別な接点により図書館を使ってもらうことを

	意識することが、図書館の発展につながります。ステレオタイプな図書館になってはならないのです。
委員長	イベントもそのきっかけとなるよう考えてやってほしいものです。
委員	展示ならば、ポスターを貼り、そこにキーワードを掲げるだけでもきっかけとなります。
図書館長	ご意見を伺い「魅力づくり」と「つなぐ」がキーワードと感じました。今後、ご意見をいただきながら事業を進めて参りたいと思います。
委員長	他にございますか。
委員	(なしの声あり)
委員長	なければ本日の協議事項は以上です。 これもちまして、議長の任を降ろさせていただきます。
一般サービス担当主査	ありがとうございました。続きまして、4「その他」ですが、事務局より報告がございます。
事務局	(図書館長から資料「図書館システムの更新について」及び「図書館停電及び高圧ケーブル修繕について」に基づき報告。)
一般サービス担当主査	報告は以上です。 以上もちまして、令和5年度第3回飯能市図書館協議会を閉会いたします。
	午前 11 時 50 分閉会
議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。	
令和 年 月 日	
議長の署名 _____	